



RNA共創コンソーシアムの全体像とその社会的意義

RNA共創コンソーシアムは、花王、アイスタイル、キリンホールディングスをはじめとする企業群が連携し、RNA解析技術を生活者起点のDX・パーソナライズドサービスに活かすための業界横断の枠組みです。本レポートでは、設立の背景、具体的な技術や仕組み、参加企業の役割や事業的意義、CEATEC 2025での取り組み、未来社会への影響、さらにはプライバシー・倫理的課題まで、多角的に分析します。

要約・主な発見

RNA共創コンソーシアムは「皮脂RNAモニタリング」などの先端的RNA解析技術を核に個別最適化サービスの社会実装とESG経営、業界連携による事業創出を目指している。美容・健康領域のパーソナライズから、未来の産業基盤構築や社会課題解決、倫理・プライバシーにも配慮したイノベーションモデルだといえる。

コンソーシアムの概要と設立目的

設立の経緯と基本構造

「RNA共創コンソーシアム」は、**2024年に花王とアイスタイルが中心となって設立**されました。花王が開発した「皮脂RNAモニタリング」技術（顔の皮脂からRNAを抽出し網羅的に解析する）を事業の核とし、そこにキリンホールディングス、コーセー、マツキヨココカラ&カンパニー、パーフェクト、ヘルスケアシステムズなどが幹事・参画企業として加わっています。^{[1] [2] [3] [4] [5] [6]}

設立の背景には、生活者が多すぎる選択肢の中から「自分に合う商品・サービス」を見極めることが難しい社会課題が存在します。そこでRNAを“ものさし”として一人ひとり異なる身体状態を見える化し、満足度の高い選択を可能にするとともに、業界横断のサステナブル消費モデルの創出を目指しています。^{[2] [4] [7] [5] [6]}

公式サイト・運営体制

- **理事企業（運営委員会）**：花王株式会社、株式会社アイスタイル
- **幹事（参画企業）**：株式会社コーセー、株式会社マツキヨココカラ&カンパニー、キリンホールディングス株式会社、パーフェクト株式会社、株式会社ヘルスケアシステムズ 他

活動内容：具体的技術とビジネスの仕組み

RNAテックの概念と技術背景

- **皮脂RNAモニタリング**
花王独自の**「皮脂RNAモニタリング」**技術は、顔の皮脂をあぶらとりフィルムなどで採取し、そこからRNAを抽出・網羅的に解析することで、その人の肌や身体状態の変動を時系列・状態別に“見える化”するものです。**DNA（生涯不変の情報）ではなく、生活習慣やストレス、食事、環境要因などで日々変動するRNA**を使うことで、現時点の健康状態や肌環境を正確に測定できます。^{[4] [5] [6] [2]}
RNA情報からは
 - 肌のバリア機能や炎症傾向
 - アトピーやパーキンソン病などのリスク
 - サプリ・スキンケアの「効き時」など多様な健康・美容状態が把握できます。^{[5] [6] [2] [4]}
- **「肌遺伝子モード」判定**
皮脂RNA発現情報や顔画像AI解析（スマホ撮影のみで実施可能）と連動し、ユーザーの肌タイプ推定や状態可視化を実現。^{[6] [2] [4] [5]}

パーソナライズドサービスへの落とし込み

- 一人ひとり異なるRNAプロファイルをもとに、**最適な商品・サービス推奨、カウンセリング、健康管理支援、マーケティング**が行えます。
- 2022年からは「@cosme」等と連携し、**ユーザの皮脂RNAと好まれる化粧品データの相関解析**→**最適化提案**といった社会実装も進展しています。^{[8] [2] [4] [5] [6]}

参加企業の役割とその戦略的意義

企業名	主な役割・期待される効果・関連事業
花王	独自技術（皮脂RNAモニタリング等）の提供、技術検証、スキンケア・健康基盤強化
アイスタイル	美容プラットフォーム運営、消費者データ連携、「肌遺伝子モード」アプリ化・社会実験
キリンホールディングス	ヘルスサイエンス領域展開、食品・サプリとの連携・研究
コーセー、マツキヨココカラ、パーフェクト etc.	小売流通、商品開発、AI連携、健康支援サービス等の社会実装

事業との関連性

- 各社とも**ESG/サステナ経営、AI・データ利活用推進、DX化**が急務
- 本コンソーシアムの参加は**産業共創・技術標準化リーダーシップ獲得、市場差別化、社会課題対応**という観点から戦略的に妥当

CEATEC 2025出展内容・受賞と社会的インパクト

出展のねらいと展示内容

- 「**RNA-Tech Driven Society ~RNAテックで変わる暮らしの8の新基準~**」をテーマに、
 - RNAによって自分の肌や身体の状態を把握し適切な健康・美容管理を支援
 - RNA周期ケア、サプリやスキンケアの最適な「使い時」の科学的判定
 - 「肌遺伝子モード」など各社技術展示、実際の解析体験など^{[3] [2] [4] [5] [6]}
- ビジョン展示（今後RNAが一般化した社会イメージ：「RNAが当たり前」な未来提案）

CEATEC AWARD「コ・クリエイション（共創）部門賞」受賞理由

- RNAという新たな指標を用い、多業界協業による商品・サービスの新しい選択基準提案
- 社会課題解決・新市場創出への波及可能性と先進性が評価^{[9] [1] [3]}

RNAテック時代の社会的・産業的インパクト

将来像：RNAを活用したSocietyの未来

- パーソナライズドな健康・美容サービスが生活のあらゆるシーンに普及
- ビューティ、ヘルスケア、小売、フード、製薬など業界横断でデータ連携・共創が常態化
- ユーザーは**自分のリアルタイムな状態を基に「最適に選び、より健康的で満足なライフスタイル」**を実現
- 社会全体では需給バランス最適化・廃棄削減、新市場創出とサステナ社会への転換が期待^{[7] [4] [5] [6]}

プライバシー・倫理的課題と多角的評価

主な社会的議論

- 個人のRNAという生体情報の収集・解析のプライバシーリスク
- データ保護、同意取得、利活用範囲の透明性
- 標準化された厳格なプライバシーポリシーとガバナンス体制
- サードパーティ提供範囲・AI活用のバイアス
- データ匿名化・非特定化
- ELSI（倫理的・法的・社会的課題）、ESG（環境・社会・ガバナンス）対応の重要性^{[10] [6]}

コンソーシアムの対応姿勢

- 情報取扱いは厳格なポリシーに基づき、社会実装段階でのガバナンス・透明性・合意形成を重視。^[6]
- 社会実装に向けては、市民参加、多様なステークホルダー協働、ELSIガイドライン徹底の必要性が高い。

結論

RNA共創コンソーシアムは、最先端の生体分子計測技術とAI・データ連携を活用し、未来志向型の社会・産業変革モデルを具現化しつつある業界横断プロジェクトです。個人の状態把握からパーソナライズドサービスの実現、サステナ消費・ESG経営推進、業界の新たな共創モデル提示など、多面で大きなインパクトを持っています。その一方で、社会的受容性確保と倫理・プライバシー配慮が不可欠——これらが両輪となってこそ、RNAテックの社会実装は本格化するでしょう。

今後は、参加企業のさらなる拡大、標準化ガイドライン策定、社会対話の深化などが進めば、RNAテックが社会に深く根付く未来が期待できます。



1. <https://www.kao.com/jp/newsroom/news/release/2025/20251007-001/>
2. https://www.kirinholdings.com/jp/newsroom/release/2024/0311_01.html
3. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000575.000070897.html>
4. <https://www.kao.com/jp/newsroom/news/release/2024/20240311-002/>
5. <https://eczine.jp/news/detail/14409>
6. <https://netshop.impress.co.jp/node/12030>
7. <https://beautytech.jp/n/nf89226fb0609>
8. <https://beautytech.jp/n/nbbf86cd226ba>
9. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000222.000066482.html>
10. https://www.isc.meiji.ac.jp/~elsi/project/symposium/20240823_RS.pdf
11. <https://www.istyle.co.jp/news/press/2025/10/1007.html>
12. https://www.ceatec.com/ja/press/info_detail.html?content_id=78
13. <https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/80201?page=2>
14. <https://www.ceatec.com/ja/conference/detail.html?id=2990>
15. <https://internet.watch.impress.co.jp/docs/interview/2050185.html>
16. <https://hc-sys.com/news/240311/>
17. <https://news.jocее.jp/article/da879308-a330-11f0-b8be-9ca3ba0a67df>
18. <https://www.istyle.co.jp/news/press/2024/03/0311.html>
19. https://www.ppc.go.jp/files/pdf/280916_siryou1-1_bessi2.pdf
20. <https://www.tuat.ac.jp/outline/executive/vision/>

